

発言順序1「6番」加藤代史子議員

1 新型コロナウイルスのワクチン接種について

新型コロナウイルスのワクチン接種に向けそれぞれの自治体で準備が行われている。

政府は昨年、予防接種法を改正し、新型コロナウイルス感染症の蔓延を防ぐため、このワクチン接種を緊急に行う「臨時接種」に位置づけ国民に無料で接種する方針が決められた。

短期間で膨大な人数に接種する前例のない事業である。そこでワクチン接種について、以下7点を問う。

- (1) 医療従事者へのワクチン接種が始まっているが、医療従事者の範囲とその進捗状況はどうか。
- (2) 市民への本市の接種体制はどうか。
- (3) 接種者の情報管理は「予防接種台帳システム」と新たなシステムの導入が検討されているが対応はどうか。
- (4) 接種後に「アナフィラキシー」等の副反応が生じた場合についてどのような対策を検討しているのか。
- (5) 高齢者施設の接種体制はどうか。また施設職員も一緒に接種可能としているが対応はどうか。
- (6) 職場での接種はどうか。
- (7) 住所地外での接種への対応はどうか。

2 子育て世代包括支援センターについて

妊娠・出産から子育てまでの切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置について、国は今年度末での全国展開を掲げている。行政の窓口などが異なることで連携や支援が途切れる課題の解決のためである。本市の第2期常滑市子ども・子育て支援事業計画には、この機能を保健センターと子育て総合支援センターが連携し「妊娠・出産・子育てつながる支援事業」としている。そこで、以下を問う。

- (1) 子育て世代包括支援センター設置についての考えはどうか。

3 自転車の安全利用について

県の交通事故死者数のうち、自転車乗車中の交通事故による死者は毎年約2割を占めている。県は令和2年7月「自転車の安全で適正な利用の促進に関する検討会議」を設置した。本市の自転車の安全利用について、以下3点を問う。

- (1) 自転車の安全利用への取組はどうか。
- (2) 自転車事故による損害賠償を保障する保険の加入を義務化するため、条例を設置する自治体が増えている。本市の対応はどうか。
- (3) 県が自転車ヘルメット購入に対する補助制度を来年度から実施する。本市の対応はどうか。

発言順序2「5番」大川秀徳議員

1 本市におけるGIGAスクール構想の実現について

新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン授業が全国的に展開されるようになった。大学では、ほとんどの授業がオンライン化されて、学生は自宅で授業を受けるようになった。また、小中学校や高校においても、学校が臨時休校になっても、子供たちの学びが止まらないよう、家庭での学習を支援する取組が始まった。万が一、再び臨時休校となった際に、即座にしっかりと対応できるように、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備への動きが加速し、本市においても他市町に遅れをとることなく整備を進めた。令和3年4月より1人1台端末教育がスタートするにあたり、以下3点を問う。

- (1) 端末の整備の進捗状況はどうか。
- (2) 通信ネットワーク環境整備の進捗状況はどうか。
- (3) GIGAスクールサポーターの配置の進捗状況はどうか。

2 同報無線と防災ラジオについて

本市では、災害時などに、市民等に災害や避難の情報を伝えるための重要な情報伝達手段の1つとして、市内全域87か所に設置した子局のスピーカーから放送が流れる同報無線を運用している。災害時には、同報無線を使用した広報等が考えられ、普段から同報無線が聞こえづらい地区の方への対策や災害時の備えとして、防災ラジオの販売もしている。供用開始からの運用について以下3点を問う。

- (1) 同報無線への苦情等はあるのか。
- (2) 各地区の区長などによるコミュニティ放送とは、どのようなものを想定しているのか。
- (3) 防災ラジオの販売実績を問う。

発言順序3「10番」中村崇春議員

1 1次産業振興について

本市では農業、漁業各々で県下有数の生産量の品目があり、宣伝によって市内外の認知度も上がってきている。また、大規模化や機械化などにより生産性の向上も図られ、1次産業の課題について少しではあるが改善も見られる。しかしながら、1次産業の大きな課題である天候や環境の影響は抑えられず、この冬はその影響が単価に表れた。また、昨年1月頃から蔓延している新型コロナウイルス感染症の影響もあり、状況は依然厳しいものがある。

1次産業は食につながる産業であり、国や県も支援を行っている。本市においても1次産業振興は観光やシティプロモーションにもつながる。それには本市の1次産業に対する姿勢を示すことが大切である。

そこで、以下5点を問う。

- (1) 農業者や漁業者への新型コロナウイルス感染症の影響を把握しているか。また、国や県の新型コロナウイルス感染症対策の補助事業と、その実績はどうか。また、令和3年度以降に実施する補助事業はあるか。
- (2) 1次産業では国の意向が強く反映されるが、現時点での国の示す1次産業の方向性をどう把握しているか。また、本市として事業者を支援する施策の実績と計画を問う。
- (3) 農業者では大規模化と機械化、漁業者では機械化と販売経路開拓が産業振興に大きく寄与すると考えるが、本市の状況はどうか。また、市の支援策は何か。
- (4) 6次産業化について、農家レストランの評価と新規出店問合せはどうか。また、いわゆる『漁師レストラン』について、市はどのように考えるか。
- (5) 1次産業は、観光やシティプロモーションにも大きく関連する。来年度策定する常滑市観光戦略プランに1次産業をどのように位置づけ、振興につなげる考えか。

発言順序4「12番」伊 奈 利 信 議員

1 ポートレースとこなめ第6次経営合理化計画について

ポートレースとこなめ第6次経営合理化計画は、令和元年度から令和3年度の3か年を計画期間とし、より一層の収益重視型事業の実現を目指し策定された。ポートレース事業局はこの計画に取り組み、モーターボート競走事業の推進をはかっている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策による関係施設の閉鎖や無観客レースの開催など想定外の対応に追われつつも、安全安心な事業運営に従事され、その努力に対し感謝と敬意を表すところである。また、新設スタンドの建設事業は、令和3年度のオープンに向け、着々と進められ、現在ではその外観が見えてきている。非常に楽しみであり、大きく期待する。

計画期間の2年目である現時点での進捗状況、最終年度となる来年度の取組等の確認、今後の展開を含め、以下2点を問う。

(1) 本計画の進捗状況について

- ①新型コロナウイルス感染症の対応策と影響はどうか。
- ②売上げ状況と今後の推移予測について問う。
- ③新設スタンド建設の現況と今後のスケジュールについて問う。

(2) 今後の展開について

- ①電話・ネット投票の売上げ向上策を問う。
- ②ファミリー層などの新規ファン獲得に向けた取組を問う。
- ③地域に開かれたレース場を目指す取組を問う。

発言順序5「7番」成田勝之議員

1 男女共同参画社会実現に向けた取組について

男女共同参画社会の考え方は浸透していると感じる。ただ、実現度合いに関してはまだ課題があると感じる。実際、平成30年7月公表の本市の第2次男女共同参画プラン事業計画の平成29年度実績報告には、総事業数のうち4分の1程度課題が残っているとのことである。引き続き男女共同参画の視点で施策を進めていくことは大切である。同時に、近年ジェンダーレスまたはLGBTの視点が重要になってきていると思う。特にLGBTの人たちに対する配慮や性的マジョリティの人たちへの啓発は、今後ますます重要となってくると考える。そこで、本市における考え方や取組状況について、以下4点を問う。

- (1) 第2次男女共同参画プランの平成29年度実績報告において課題とされた事業は、現在どのような状況か。
- (2) 令和3年度以降はどのように進めていくのか。
- (3) 性的マイノリティに対する市の認識はどのようなものか。
- (4) 小中学校での教育や市民への啓発はどのような状況か。

発言順序6「8番」坂本直幸議員

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

全国で新型コロナウイルス感染症は現在減少傾向にあるが、政府は今後の感染拡大防止対策として感染予防・発症予防・重症化予防を目的とし、蔓延防止のため新型コロナウイルスワクチン接種を国民に無料で実施することとした。ワクチン接種は各市町村で行われる。本市では市民への安全でスムーズな推進体制確保のため、福祉部長ほか15名の新型コロナウイルスワクチン推進チームが福祉部健康推進課で設置された。4月1日以降に65歳以上を対象としたワクチン接種が行われる予定であるが、接種に当たっては対象者に負担のかからない対策が求められるところである。ワクチン接種に向けて現在までどのような取組をしてきたのか。

そこで、以下5点を問う。

- (1) ワクチン接種を実施する場所は選定されているのか。接種場所はどのようにして決定し、最終決定はいつ頃になるか。
- (2) 高齢者のワクチン接種対象者総数は何名なのか。1日で何名の接種を目標としているか。接種開始から終了までの期間はいつ頃と考えているか。
- (3) 医師・看護師などの必要な従事者の確保はどうか。
- (4) ワクチン接種の順番はどのようにして決められるのか。
- (5) ワクチン推進チームはワクチン接種に当たりどのような取組をしてきたのか。また今後の取組についてはどうか。

発言順序7「2番」西本真樹議員

1 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

緊急事態宣言が1月に出され、入院患者数も徐々にではあるが、減少傾向に向かっている。しかし、危険領域を脱しておらず、市民病院ではコロナ感染者の入院受入れを引き続き行わなければならない。

また、ワクチン接種も2月17日から医療従事者の先行接種が始まった。その後、高齢者、基礎疾患を有する者、高齢者施設等の従事者、それ以外の住民へと順次、接種が始まる。

しかし、ワクチン接種だけでは万全ではなく、住民は3密を避けながらの生活を継続しなければならないと考える。

そこで、以下4点について問う。

- (1) 常滑市を含めた、知多半島医療圏でのコロナ患者の入院受入れの状況、医療連携についてはどうか。
- (2) ワクチン接種については、集団接種から始める予定になっている。各地でクラスターの原因のひとつとなっている高齢者施設等の職員への接種を医療従事者の次にすべきではないかと考える。
集団接種については、交通手段のない住民は会場まで行くことが困難になると考える。かかりつけ医や訪問による接種も検討すべきと考えるがどうか。
- (3) 密を避けるために確定申告等の受付会場が、市役所だけになった。オンライン申請を推奨しているが、パソコンを全ての人が使えるわけではない。従来どおりの会場での実施も必要ではなかったか。
- (4) 密を避けるために、公民館などでのグループ活動について、中止や人数制限など制約が出ている。市から人数制限をお願いするのであれば、施設利用料の減免をすべきではないか。

2 中部国際空港沖公有水面埋立事業について

1月29日に愛知県知事の記者発表で、中部国際空港沖の埋立てに向けた漁業補償が合意になったとの報道がなされた。

国土交通省中部整備局が主となる「中部国際空港沖公有水面埋立事業」は、名古屋港内のしゅんせつ土砂約3,800万立方メートルを空港島の西側

及び南側に、面積にして 294 ヘクタールを埋め立てるもので、工事期間は 32 年となっている。

名古屋港内のしゅんせつ土砂は、本来、名古屋港内で処分することが本筋であり、埋立計画があるにも関わらず、港外での処分が決定された。

中部経済界は、二本目滑走路の実現に近づいたとのコメントを出しているが、空港沖の埋立ては漁業だけの問題ではなく、伊勢湾内の環境にとっても大きな影響を与えることになり、容認できない。

そこで、以下 3 点を問う。

- (1) 計画当初は空港島沖だけでなく、四日市沖や伊勢湾中央の深場等も埋立地候補に上がっていた。伊勢湾漁業調査や環境影響評価等が進められていく中で、本市は本事業の経緯についてどのように考えているのか。
- (2) 愛知県の 2021 年度当初予算案では、水産業の振興費が前年度の約 1.5 倍で、背景には、空港沖の埋立てをめぐる漁業者と国の補償交渉があると報道されている。本市の漁業に対する考え方と振興策を問う。
- (3) 今後の埋立てについて、本市の考えはどうか。

発言順序8「14番」相羽助宣議員

1 新型コロナウイルス感染防止対策及び感染者支援について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため発令された緊急事態宣言は、2月8日から3月7日まで延長された。終息のための切り札のワクチン接種は、2月17日に医療従事者へ先行接種された。そこで感染防止対策及び感染者支援について、以下3点を問う。

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種について、以下4点を問う。

- ①国から割り当てられた超低温冷凍庫はどこに設置されているのか。また、接種会場への輸送方法はどのように考えているか。
- ②集団接種会場の医師・看護師の配置状況や、専用注射器確保の現状はどうか。
- ③集団接種会場の感染防止対策はどのように考えているか。
- ④ワクチン接種の有効性及び接種方法について、市民にどのような周知方法を考えているか。

(2) 英国型変異ウイルス感染防止対策について、以下を問う。

- ①中部国際空港に、英国より週1便臨時便が来ているが、どのような感染防止対策をとっているか。

(3) 自宅療養者の支援について以下を問う。

- ①血中酸素濃度を測る「パルスオキシメーター」について、市として貸与は考えているか。

2 第20回アジア競技大会について

第20回アジア競技大会は、2026年9月19日から10月4日まで愛知県で開催される。本市の取組について、以下2点を問う。

(1) 本市では、フェンシング・スケートボードの2競技が、仮決定ではあるが、愛知県国際展示場で開催される。この大会に際して、市としてどのような取組を考えているか。

(2) 自転車競技のBMXレース・BMXフリースタイルの競技会場がまだ決まっていない。本市には開催することができる愛知県国際展示場がある。経済効果等を考えると誘致を検討したらよいと思うがどうか。

発言順序9「4番」伊藤 直 議員

1 ポートレースとこなめのリニューアルについて

令和2年秋にレース場西に新しい防風ネットが完成した。続いて令和3年度には、新設スタンド・ポートキッズパークMooovi（モーヴィ）も続けて完成する。

そこで、以下3点を問う。

- (1) 新しい防風ネットの耐久年数はどれくらいか。また、張り替えた場合のコストを問う。
- (2) 新設スタンドの完成後、既存のスタンドはどのように運用するのか。
- (3) 他レース場もパーク化が進んでいる。常滑もポートキッズパークMoooviがスタートするが、どのような形で運用するのか。

発言順序 10「16 番」盛 田 克 己 議員

1 通学路を含めた歩行者・自転車の交通安全対策について

車優先の交通安全対策は種々実施されているが、交通弱者と言われる歩行者や自転車に対する事故防止策は、必ずしも完璧ではないと思われる。注意義務を怠るマナーの悪さもあると思われるが、今後、高齢者の自転車での移動は増加すると予想される。そこで、以下について問う。

(1) 道路管理者として取るべき対策や指導について、次の 12 点の現状と今後の対応を問う。

- ①歩道の設置
- ②路肩の拡幅
- ③カラー塗装化
- ④防護柵の設置
- ⑤自転車通行空間の整備
- ⑥踏切の拡幅
- ⑦電柱の撤去
- ⑧信号の工夫（スクランブル方式）
- ⑨夜間の照明
- ⑩歩行者、自転車用のカーブミラーの設置
- ⑪高齢者の交通安全指導
- ⑫自転車賠償責任保険の加入促進